

令和7年度 粟ノ保小学校だより



ひまわり

スローガン【すべては 子どもたちの 幸せのために】

令和7年12月1日 NO. 11

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

カレンダーもあと1枚となりました。早いもので 2025年の締めくくりの月「師走」を迎えます。あっという間に 12 月を迎え、寒さも一段と厳しさを増してきました。寒 暖の差が著しく、風邪などで体調を崩す子どもたちが増えました。学校では、こまめな手洗いとうがいの励行を進めています。ご家庭でも子どもたちの体調管理にご協力をお願いします。

◇羽咋市小中合同音楽会◇ 11/14(金)

例年より早くインフルエンザAが流行を見せ始めたのが11月中旬。子ども達も先生方も未だ予防接種を打ち始める前でした。羽咋市内でも学級閉鎖をする学校も出始めました。本校でも5,6年生を中心にして感染者が広がりを見せていました。合唱曲を決め、パート練習をし、ピアノ伴奏者は必死に練習を続け、指揮者に合わせてこれまで練習を積み重ねてきたわけです。子ども達の発表の場をなくすことはできません。努力の足跡を残させてあげたい一心でした。

当日は、出席している子ども達で、全力を出し切ってコスモアイルのステージに立ちました。

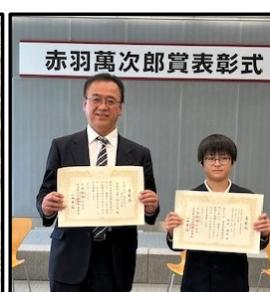
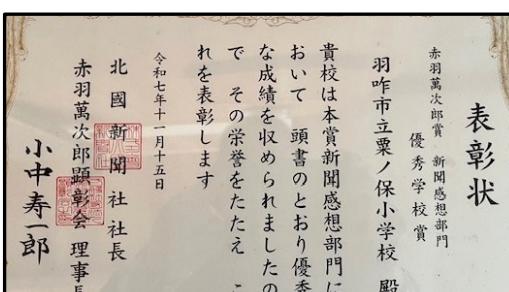
インフルエンザで欠席せざるを得なかった皆さんには、大変申し訳ございませんでした。心残りはあるでしょうが、今回参加できなかった5年生は来年、そして6年生は中学2年に再チャレンジすることができます。次回の合同音楽会に向けて期待しています。



◇受賞:北國新聞赤羽萬次郎賞◇

11月15日(土) 北國新聞会館20階にて、表彰式がありました。

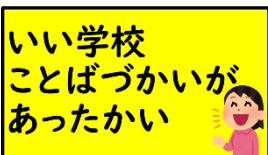
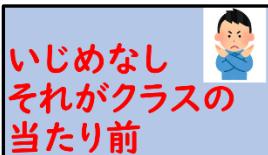
新聞感想小学生部門では県内7名中6人が羽咋市で、その内の1人が6年中村颯世さんでした。「優秀賞」を受賞しました。さらに、優秀学校賞。県内の小学校では、粟ノ保小だけでした。
とても栄誉ある賞を頂きました。日頃の児童・教職員の地鳴り投稿の取組みも含めてのことだと推察しますが、本校のがんばりを評価していただいたことに全校で喜び合いたいと思います。



タイトル
「あ!羽咋のことが
かいてあるぞ!」

裏面あります

◇12月全校集会：校長の話◇12/1(月)



12/4～12/10は全国一斉に、「人権週間」が始まります。その最後の日は、「世界人権デー」です。法務省の人権イメージキャラクター「人権まもるくん」「人権あゆみちゃん」を紹介し、人権とは「誰もが生きていくことができる権利」と話しました。今回は、ある小学生Aの作文を紹介しました。とび箱の授業がいやでたまりません。体育が苦手で、とび箱もできないからです。

はじめ小さく聞こえていた
わらい声が、
どんどん大きく
聞こえてきた

その時「笑うな！」と、
大きな声が
きこえました

「笑ってごめん」とか
「がんばれもっと勢いをつ
けるべるよ」とかみんなの
声が

身体が高くういた
と思ったその時
私はとび箱を
こえていました

みなさんはわらう人ですか
「わらうな！」という人ですか
「がんばれ！」とおうえんす
る人ですか

友だちはみんなとべるのに、自分だけとべないので周りから笑われるのがすごくいやなんです。笑っている子に、「笑うな」と声を出してくれた勇気ある男の子がいました。周りがシーンとなり、反対に応援する声がだんだん大きくなり、苦手な子が見事とび箱をとべたという作文でした。

あなたは、笑う人？「笑うな」という人？「がんばれ」と応援する人？ふり返ってみましょう。

◇ちょっと親学◇

子どもが成長していくとは、学習した知識を身につけること、目の前の課題をどうしたら解決できるか考えをめぐらすなど、学習の知識を思いがちですが、「生活の技」を身につけることは、将来を見据えるととても大事です。

- ◆「あいさつ」は人に欠かせない「対人関係の技」です。
- ◆「ごめんなさい」「ありがとう」も対人関係を潤滑にする技です。
- ◆「朝、早めに起きる」「朝食を食べる」「ゲーム時間を守る」は、生活習慣の技です。
- ◆「歯ブラシを使う」「タオルをたたむ」などは、生活用具活用の技です。

これらの「生活の技」を身につければ、「自立した大人」に近づけるでしょう。保護者からすると、子どもに、「しつける」といってもいいのかもしれません。

「しつけ」という字を漢字で書くと「躾」。身が美しいと読みます。身につけたものが、他の人々から「美しく」見えるのだと思います。

そして、その人が身につけたもの（美しさ）をさして、
「品がある」という言い方をするのでしょう。

学校では「あいさつ、返事、話を聞く」等を指導しています。
大きなあいさつ、返事ができれば、それだけで「生きる力」です。
周りの人は、好印象を抱くでしょう。言葉遣いも大切です。

丁寧な言葉遣いは、その人の人格も表します。先生や目上の人と話すとき、授業中など人や場所に合わせて話すようになることが大切です。
「挨拶・返事・言葉使い、そして時々の笑顔！」があれば、社会に出てからもかわいがってもらえる。
私の先輩からいただいた心に残る一言です。

おはようございます!!

